

レンゴーのワザにときめき!

独自の技術

環境に優しく、作業効率もアップできる
軽量段ボール原紙を開発。

従来よりも25%軽量化した段ボールの中しん原紙は、これまでと同等の強さを持ちながら、荷物の搬送や包装時の作業効率を向上させています。この紙を最初に開発した当時はあまり注目されませんでしたが、環境問題がクローズアップされるようになった十数年前にリニューアル。軽いため搬送時のCO₂の排出量を削減でき、環境に優しい紙として全国に普及しています。

今後の展望

“Less is more.”をキーワードに
高品質な製品づくりを推進。

より少ない資源で大きな価値を生むパッケージづくりを目標に掲げ、エネルギー消費やCO₂の発生を抑制できる、付加価値の高い高品質な製品づくりを継続、進化させながら、福井県経済の成長をパッケージで支え、地域社会の発展に貢献していきます。



1 段ボール原紙をリールに巻き取っているところ 2 完成した紙に傷や汚れがないかどうかの最終チェックは、人が目で見て、手で触って実施する。点検者が靴を脱いでいるのは、自分たちの生活を支えている紙の上に土足では上がれないという思いからである 3 古紙を集積している広大な「古紙ヤード」

Question & Answer



工場長
南 裕幸さん

あわらのココが好き

レンゴーの桜並木

Q 仕事にはどんな人を求めていますか?

A 常に新しいことに関心を持ち、いろいろなことにチャレンジ精神をもって取り組める人。そして、チームで何かをやりとうというときに、積極的に協力できる前向きな人に来ていただきたいですね。

Q どんなデジタル改革に取り組んでいますか?

A 当社では、DX推進としてデジタル技術の導入による自動化・可視化・省力化を積極的に進めており、生産性向上・コストダウン・品質向上や働き方改革を目指して日々取り組んでいます。

こんな職場です

女性にうれしい
更衣室の整備



気兼ねなくトイレに行きたいという女性従業員の声をもとに、女子更衣室の中にトイレを設置。シャワールームやロッカーもあり、休憩時にはソファでゆったりとくつろぐこともできます。

進化する「段ボール」の源を担う。 女性や子育て世代への制度が充実。

電化製品や食料品、書籍など、私たちの身の回りにある物のほとんどは「段ボール」を使って運ばれ、インターネットなどによる通信販売の普及とともに、その需要はますます高まってきました。この段ボールを日本で初めて製造したのがレンゴーです。より少ない資源で大きな価値を生み出す“Less is more.”をキーワードに、地球環境に優しいさまざまな段ボールを生産しています。段ボールは、「ライナ」という表面の紙と、その間にある波型の「中しん」という紙からできています。金津工場では、段ボールの原紙であるライナ原紙と中しん原紙を生産してお

り、原料の97%は古紙等のリサイクルによるものです。

また、段ボールの可能性を追求し開発されたのが、従来より25%軽量化した中しん原紙です。この紙は二酸化炭素の排出量削減につながる製品で、環境問題への関心が高まる中、その価値は大きく認められてきています。

職場環境においては、女性用の更衣室やトイレをより使いやすく整備するとともに、第3子以降の子どもが生まれた社員へ100万円の出産祝い金を贈与するなど手厚い制度を設け、子育て世代をサポートしています。



レンゴー 株式会社 金津工場

〒919-0698 あわら市自由ヶ丘1-8-10
TEL.0776-73-1234 FAX.0776-73-7038
<https://www.rengo.co.jp/> ko-takahashi@rengo.co.jp

設立:1920年/代表:代表取締役社長 川本 洋祐/資本金:310億6,600万円(本社・単体)/売上:3,239億8,900万円(全社・単体)/従業員数:130人(工場)/平均年齢:45歳(工場)/勤務地:同上/主な勤務時間 8:25~17:10/福利厚生:社会保険、年次有給休暇、リフレッシュ休暇、慶弔見舞金、育児・介護支援制度、福利厚生代行サービス

インターン
受入れ企業

下のコードから
企業の公式サイトを
check!

